

JForest 滋賀中央

森林組合だより

も り めぐ

森林の恵み

No.10

森林面積 42,054 ha
出資金 136,659 千円
組合員数 6,231 人



合併契約書への調印

令和6年1月16日（火）14時から「滋賀県林業会館」（大津市大萱）において、県内6森林組合の合併契約書の調印式が執り行われました。

合併契約書の調印後、被合併組合6森林組合がそれぞれ開催する臨時総代会において、総代さんの承認（特別議決出席総代の2／3が賛成）があった場合に限り合併が正式に決定します。新組合は、令和6年6月に誕生する予定です。

※ 「合併契約」とは、合併予定に先立ち、合併しようとする組合の間において、締結される契約であって、近い先に合併すべき旨及び合併条件や合併期日、新設組合の定款の内容等を定めるものをいいます。後に開催される合併臨時総代会において可決されてから合併契約の効力が生じることになります。

組合長あいさつ

昨年8月26日の第10回通常総代会において新役員が選任され、その後の理事会において、引き続き代表理事組合長を務めさせていただくこととなりました。

就任いたしました3年前は、コロナが猛威を振るい始め、あらゆる社会経済状況が大混乱に陥った時でありました。また、当組合におきましても重大な労働災害事故や、職員の不祥事案など様々な問題を抱えており、極めて厳しい経営状況で事業利益については欠損という状況にありました。

しかしながら、その後はウッドショックや全国植樹祭関連受注などの要因もあり、また、本来業務の森林整備事業に加えて、一般請負事業を積極的に行うなどの職員の努力もあり、おかげさまで2年連続黒字の事業成績となりました。改めて組合員の皆様のご理解とご協力と、役員職員の尽力に感謝申し上げる次第であります。

一昨年6月に管内の鹿深夢の森で第72回全国植樹祭が開催されました。県民の山への関心は高まりましたものの、森林所有者の森林整備への意欲が高まるまでには至らず、森林の保全にはまだまだ厳しいものがあります。CO₂削減や災害防止などの森林の持つ多面的機能を発揮させるために、森林組合が主体となって今後の地域の森林保全を担っていくことが重要であります。そのためにも、しっかりとした経営基盤と職員の組合に対する意欲とスキルの醸成をさらに図る必要があります。

県内森林組合では、すべての組合が抱える今後の問題に対処するため、滋賀県森林組合変革プランを策定し今後の改革に向けて取り組んできました。そうした中で、現在取り組んでいます搬出間伐主体の森林整備施業から主伐再造林への転換の必要性和、こういった課題に対応できる組織体制を目指して、滋賀県が進めようとしておられる県下一組合への合併議論へと進んできたところであります。残念ながら諸事情もあり全組合がそろっての合併は難しい状況ではありますが、ほとんどの県下組合が意思を統一して合併に向かうための合併協議会の設置とそれへの参加につきまして、先の理事会及び総代会でご承認を賜ったところであります。

組合長2期目としましては、滋賀県下最大の森林組合として、リーダーシップをもって合併に向け取り組んでいきたいと考えております。組合員の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。



滋賀中央森林組合
代表理事組合長

家 森 茂 樹

第10回通常総代会を開催しました。

昨年8月26日（土）に甲賀市水口町の碧水ホールで第10回通常総代会を開催いたしました。今年は新型コロナウイルスの影響が緩和されたことから3年振りに通常の形での総代会開催となり、現総代数200名に対し本人出席76名、書面出席81名、合計157名の出席となり76%の出席率になりました。

来賓には、管内選出の県議会議員、村上元庸氏を始め甲賀市長、湖南市環境経済部長、日野町副町長、中部森林整備事務所次長、甲賀森林整備事務所長、滋賀県森林組合連合会長のご臨席を賜り、県議会議員の村上元庸氏、甲賀市長の岩永裕貴氏、滋賀県森林組合連合会会長の石谷八郎氏よりご祝辞を賜りました。

議長には、土山町の曾我三四次氏が就任され、スムーズな進行により全11議案と附帯決議1件を原案どおり可決承認いただきました。

令和4年度は、ウッドショックによる木材価格の高騰時機での出荷に努め森林所有者へ計画以上の搬出間伐代金の還元を果たすことができました。また搬出した木材を県内公共建築工事の材料に販売することにより県産材



議長 曾我三四次氏

の需要拡大も図ることができました。さらには滋賀県造林公社や県から森林整備事業を受注するとともに剪定や空き地の草刈りなどの一般請負事業、山林境界を割出す放置林防止対策境界明確化事業の推進にも力を入れ森林所有者だけでなく地域住民の方々にも喜んでいただくことができました。

その結果、事業総収益760,585千円（対計画比104%）、税引前当期利益6,859千円（対計画比112%）の実績をあげることができました。

このことは、組合員各位のご理解ご協力並びに関係行政機関のご支援の賜と深く感謝申し上げます。



提 出 議 案

- 第1号議案** 令和4年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案並びに注記表及び附属明細書の承認について
- 第2号議案** 令和5年度（令和5年6月1日～令和6年5月31日）事業計画書の設定について
- 第3号議案** 令和5年度における借入金最高限度額決定について
 組合運営資金 金 300,000千円
 特別の法律に基づく借入金
 農林漁業資金 金 150,000千円
 農林中央金庫資金 金 50,000千円
- 第4号議案** 令和5年度における余裕金預け入れ先決定について
 農林中央金庫、滋賀銀行、関西みらい銀行、ゆうちょ銀行、甲賀農業協同組合、グリーン近江農業協同組合、滋賀県信用組合、湖東信用金庫
- 第5号議案** 令和5年度事務取扱手数料決定について
 (1) 造林補助金事務取扱手数料
 …交付補助金額の10%以内
 (2) 受託造林事業手数料
 …労務費の3%以内
 (3) 受託林産事業手数料
 …売上金額の3%以内
- 第6号議案** 林道事業に係る賦課金徴収方法並びに徴収時期決定について

- 森林組合が施行する林道事業賦課金徴収時期は着工より工事完了時までとし、受益者総会において決定された賦課率により徴収し、方法は理事会に一任する。
- 第7号議案** 林道事業による分担金の徴収承認について
 森林組合が施行する林道事業に伴う受益者のうち組合員外（県営林、造林公社等）には、分担金を徴収する。その時期、方法については着工より工事完了時迄として、当該規定による分担率とし、方法は理事会に一任する。
- 第8号議案** 令和5年度中における役員報酬の限度額決定について
 理事報酬は金14,000千円以内とし、各理事ごとの額は理事会に一任する。
 監事報酬は金500千円以内とし、各監事ごとの額は監事の協議とする。
- 第9号議案** 役員任期満了による役員選任について
 理事22名 監事3名
- 第10号議案** 退任役員に対する退任慰労金の支出について
 役員退任規程に基づき支給する。
- 第11号議案** 県内森林組合合併協議会の設置について
附帯決議 本総代会の決議に反せざる限り、軽微な事項の修正並びに誤字の訂正及び行政庁の指示による字句の修正については理事会に一任する。

令和4年度 決算報告

I 貸借対照表（令和5年5月31日現在）

（単位：千円）

科 目	内 訳	小 計	合 計
（資 産）			
流動資産			
現金・預金		585,144	
受取手形	8,029		
貸倒引当金	△49	7,980	
売掛金・未収金	123,737		
貸倒引当金	△19,092	104,645	
棚卸資産		55,434	
受託造林立替金等		225,702	
その他		31,932	
流動資産計			1,010,837
固定資産			
有形固定資産		87,485	
無形固定資産		9,163	
外部出資金		33,148	
保険積立金		4,259	
農林漁業資金貸付金			
貸倒引当金	0		
その他の固定資産		859	
固定資産計			134,914
資産合計			1,145,751

科 目	内 訳	小 計	合 計
（負 債）			
流動負債			
買掛金		11,236	
短期借入金		65,000	
未払金		122,492	
預り金		103,946	
その他負債		42,379	
流動負債計			345,053
固定負債			
農林漁業資金借入金		0	
退職給付引当金		110,591	
固定負債計			110,591
負債 合計			455,644
（純資産）			
出資金		136,659	
資本準備金		910	
法定準備金		170,065	
任意積立金		359,207	
当期未処分剰余金		23,266	
純資産計			690,107
負債・純資産合計			1,145,751

注）千円未満を四捨五入しています。

[令和4年度決算]

損益計算書 令和4年6月1日～令和5年5月31日

損益計算書		(単位：千円)
科目	小計	合計
I 事業総損益		
1. 収益	760,585	
2. 費用	558,104	
事業総利益		202,481
II 事業管理費		
1. 人件費	162,478	
2. 旅費交通費	957	
3. 事務費	8,187	
4. 業務費	2,150	
5. 諸税負担金	4,618	
6. 施設費	22,586	
7. 雑費	222	
事業管理費計		201,198
事業利益		1,283
III 経常損益		
1. 事業外収益	8,581	
2. 事業外費用	3,640	
事業外損益		4,941
経常利益		6,224
IV 特別損益		
1. 特別利益	3,798	
2. 特別損失	3,163	
特別損失		635
V 利益剰余金		
税引前当期剰余金		6,859
法人税、住民税、事業税		496
当期剰余金		6,363
前期繰越剰余金		16,903
目的積立金取崩額		0
当期未処分剰余金		23,266

部門別損益計算書				(単位：千円)
部門	費用	収益	利益	
指導部門	3,153	3,500	347	
販売	販売	65,515	79,441	13,926
	建設等	30,445	57,292	26,847
	林産	125,759	179,925	54,166
加工部門	51,740	73,138	21,398	
森林整備	森林整備	126,930	159,036	32,106
	利用	121,156	168,091	46,935
	福利厚生	0	0	0
	購買	33,406	40,162	6,756
	金融	0	0	0
合計	558,104	760,585	202,481	

剰余金処分案				(単位：千円)
区分	積算内訳	処分額	合計	
I 当期未処分剰余金			23,266	
II 剰余金処分額				
1. 法定準備金	剰余金の1/5以上	1,500		
2. 任意積立金				
損失補填積立金		3,000		
役員退職積立金		713		
組合施設等修繕積立金		0		
III 次期繰越剰余金			18,053	

注) 千円未満を四捨五入しています。



[令和5年度計画]

事業計画書

運営の基本方針	
区分	説明
総括	<p>(1) 法令遵守と不祥事再発防止計画に掲げる取組事項の継続的な実行により信用・信頼の確保に努めます。</p> <p>(2) 安心して活力ある健全な森林づくりを積極的にすすめ、組合員の負託に応えていきます。</p> <p>(3) 施業の集約化、機械化により生産コストを低減し、搬出間伐材の売上利益を還元します。このことにより、森林所有者の山林経営意識の向上が図られるよう努力します。</p> <p>(4) 流通体制の効率化により、地域材の需要拡大を図ります。</p> <p>(5) 「安全は全てに優先する。」を基本に安全作業の実施、安全意識の向上に努めます。</p>
指導部門	<p>林業推進員さんの協力と県・市・町との連携の中で、森林整備や提案型集約化事業の推進を図り、木材売上代金の山主還元に向けて努めていきます。</p> <p>このために、「認定施業プランナー」からの森林所有者への提案や個別指導を積極的に努めていきます。</p> <p>また、広報紙の発行やホームページ等により、幅広く情報提供を図っていきます。</p>
販売部門	<p>(販売事業) 国産材製品を中心とした製品販売の積極的拡販に努めていきます。</p> <p>(工作物事業) 製品開発と施工技術の研鑽に努め、営業活動の強化により、びわ湖材利用製品の建築及び拡販を図っていきます。</p> <p>(林産事業) 市場価格の動向を見極めながら、綿密な「木材仕分け」により、A材率の向上を図り、有利販売に努めていきます。</p>
加工部門	<p>住宅構造材、下地材、内装材及び工作物材料等の安定販売に努めていきます。また、製材施設、木材乾燥施設、四面カンナ加工施設、丸棒加工施設及び防虫防蟻施設の稼働率向上に努め、びわ湖材加工製品の拡販を図っていきます。</p>
森林整備部門	<p>(森林整備事業・利用事業) 境界明確化事業や森林調査を進め、搬出間伐では面積173ha以上、木材搬出材積11,212m³主伐・再造林では面積3.5ha以上、木材搬出材積1,880m³を目標とし、山主への利益還元に向けて努めていきます。</p> <p>また、滋賀県造林公社の分収育林地における木材生産事業や各種請負事業を受注し、作業技術の提供を通じた地域貢献と、利益確保に努めていきます。</p> <p>(購買事業) 森林組合の利用客の減少のなかで、獣害対策資材等組合員要望に応じた資材提供や管内各地での「機械整備点検会」を開催し、拡販に取り組むとともに、利用客に満足していただけるアフターサービスに努めていきます。</p>

損益計画書

I. 部門別損益計算		(単位：千円)		
部門	費用	収益	利益	
指導部門	2,618	3,473	855	
販売	販売	87,500	111,870	24,370
	建設等	34,000	55,000	21,000
	林産	109,250	150,200	40,950
加工部門	52,550	75,050	22,500	
森林整備	森林整備	133,230	166,900	33,670
	利用	127,130	177,640	50,510
	購買	31,880	39,100	7,220
	金融	0	0	0
合計	578,158	779,233	201,075	

II. 損益計算書(R5.6.1～R6.5.31)	
事業総利益	201,075千円
事業管理費	199,517千円
経常利益	8,291千円
特別損益	0千円
税引前当期利益	8,291千円

(注) LLPの配分収入を含んでいます。

新執行体制

【新執行役員】

代表理事組合長 家森 茂樹(甲賀町)

代表理事専務 鈴木 和之(信楽町)

【新役員】

理事(事業委員) 平田 英尋(信楽町)

理事(総務委員) 松原 栄樹(湖南省市)

理事(総務副委員長) 横山 増雄(日野町)

理事(総務委員長) 関谷 武治(信楽町)

理事(総務委員) 吉村 忠博(土山町)

理事(加工販売委員長) 服部 金次(土山町)

理事(総務委員) 伊東栄一郎(甲賀町)

理事(事業委員長) 黒河 盛昭(土山町)

理事(事業副委員長) 塚本 信雄(日野町)

理事(加工販売副委員長) 柚木記久雄(日野町)

理事(総務委員) 森田 則久(甲南町)

理事(加工販売委員) 田村 幸治(信楽町)

理事(総務委員) 富田 博明(水口町)

理事(加工販売委員) 服部 忠弘(信楽町)

理事(事業委員) 谷村 定義(水口町)

理事(加工販売委員) 田村 正弘(甲賀町)

理事(事業委員) 中谷 勉(甲南町)

理事(事業委員) 山川 修(湖南省市)

理事(実践理事(業務課長)) 太田 新吾(土山町)

理事(森林整備課統括係長) 松本 安代(信楽町)

代表監事 岡 正基(日野町)

監事 中島 俊樹(信楽町)

監事 加藤 慎一(土山町)

【退任役員】 組合運営にご尽力いただきありがとうございました。

理事 吉川 哲

理事 平井 壽一

理事 増田 直彦

理事 中嶋 武嗣

理事 奥島 治夫

理事 竹永 豊

理事 堂城川石一

理事 村井 榮一

理事 安田佐登志

理事 松岡 寅雄

理事 松本 勝

監事 水野藤志夫

名義変更等の手続きのお願い

組合出資名義人がお亡くなりになっている場合など名義変更の手続きをお願いします。

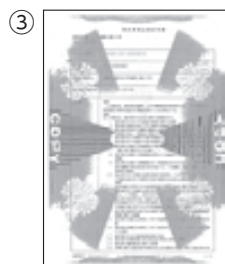
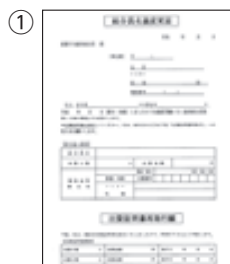
手続きに必要な書類 ①組合員名義変更届など

②出資証明書(なければ相続証明書など)

③組合員名義の登記簿謄本(全部事項証明書)のコピー

④運転免許書等の申請者を確認できるもののコピー

様式は、本所・各事業所窓口でお受け取りになるか森林組合ホームページからダウンロードも可能です。また手続きに必要な用紙の郵送を希望される方はご連絡下さい。



合併した場合における「出資金」は、新組合に自動的に引き継がれ、新たに「出資証明書」が発行されます。

新総代が、決まりました。

任期 令和5年6月1日～令和8年5月31日（3年間）

定数200名

（※合併が決定した場合、任期は令和6年5月31日で終了し、新組合では総代定数が減少したなか新たに選ばれることになります。）

湖南省石部西 山本 正隆 // 石部中央 服部 仁 // 石部東 青木儀一郎 // 西寺 山本 康一 // 西寺 山川 修 // 東寺 北村 宏一 // 三雲 奥村 和彦 // 三雲 井上弥寿雄 // 柑子袋 立入 勘一 // 針 西岡弥壽則 // 正福寺 加藤弥寿夫 // 菩提寺 白井 達治 水口町虫生野 奥村 鉄也 // 宇川 岡村萬一郎 // 高山 福澤 公男 // 三大寺 福本 誠史 // 牛飼 樋口 啓一 // 杉中 木村 幸弘 // 山上 神田 政明 // 八田 山中 秋男 // 春日 鈴木 安則 // 下山 村田 利充 // 伴中山 中森 亨 // 山 門坂 肇 // 山 中尾 義男 // 宇田 山田喜一郎 // 名坂 池本 仁孝 // 松尾 西村太家則 // 今郷 山田 和男 // 巖峨 中嶋 安雄 // 和野 藤井 清司 土山町大河原 越山 末男 // 大河原 村上 元庸 // 鮎河 久保 重衛 // 鮎河 日野谷 隆 // 鮎河 大西 隆 // 鮎河 谷川 栄作 // 鮎河 曾我三四次 // 鮎河 大家 清隆 // 黒滝 杉本 優 // 黒川 岡田 治美 // 黒川 馬場吉太郎 // 黒川 村木 和好 // 黒川 松岡 四郎 // 猪鼻 中森 豊和 // 山中 西村 忠三 // 山中 林口 富雄 // 笹路 澤田 武文 // 山女原 丸田 順登 // 南土山乙 田島 和男	土山町南土山甲 前田 勝美 // 北土山 立岡 俊郎 // 北土山 立岡 英彦 // 北土山 松山 嘉雄 // 南土山甲 山際 忠男 // 南土山甲 黒川 靖 // 平子 前田 良人 // 瀬ノ音 加藤 慎一 // 瀬ノ音 堀 保藏 // 青土 森本 浩一 // 野上野 土山 保夫 // 大沢 藤本 真澄 // 頓宮 前田 竹男 // 前野 安井 健人 // 市場 松井伊三雄 // 徳原 中村 正和 // 大野 中村 裕一 // 大野 青木 次郎 甲賀町櫛野 嶋岡 市雄 // 神 井原 実 // 神 竹中島眞博 // 神 井用 常義 // 大原上田 林口 義久 // 大久保 中島 友継 // 大原中 井村 正継 // 鳥居野 中村 典也 // 相模 村木 竹良 // 大原市場 岩崎 延幸 // 高野 田畑 茂彰 // 油日 山下 隆行 // 油日 瀧 敏孝 // 上野 瀬古 良夫 // 田堵野 増井 長司 // 滝 片矢 登 // 滝 藤岡 弘樹 // 毛枚 辻 重治 // 和田 本尋 徳之 // 高嶺 清水 勉 // 五反田 豊田 康盛 // 小佐治 河合 春信 // 小佐治 河合 仁司 // 神保 福井 利彦 // 神保 藤橋 久夫 // 隠岐 大谷 長一 // 隠岐 堀井 勝 // 岩室 西出 清治 // 岩室 田村 正弘 // 岩室 田村 宗一 甲南町葛木 吉澤 俊幸 // 森尻 八里 勲	甲南町深川 山本 哲雄 // 池田 山本 恒夫 // 磯尾 林 晶義 // 竜法師 中谷 勉 // 野田 木村 清 // 杉谷 中井 孝 // 杉谷 木村 茂良 // 杉谷 平井 三男 // 市原 馬野 一雄 // 柑子 岡崎 治雄 // 野川 橋本 義人 // 上馬杉 杉田 利正 // 下馬杉 石橋 義朗 信楽町宮町 黄瀬 憲一 // 宮町 黄瀬 忠嗣 // 宮町 黄瀬 義人 // 宮町 鵜飼清代一 // 宮町 田村 茂治 // 宮町 井上 孝之 // 黄瀬 田井中 勲 // 黄瀬 福山 治八 // 黄瀬 安田 英樹 // 黄瀬 雲林院弘吉 // 黄瀬 中島与司男 // 牧 里見 健 // 牧 横山 正人 // 牧 岸上 幸平 // 牧 田村 幸治 // 勅旨 宇田 佳民 // 勅旨 大西 進 // 勅旨 近藤 智隆 // 勅旨 宇田 雅典 // 長野 今井 茂雄 // 長野 辻 昭司 // 畑 服部 善造 // 田代 大平 啓治 // 神山 村田 喜男 // 神山 寺田 勝典 // 神山 近藤 博司 // 江田 神山 文敏 // 西 奥田 次 // 柞原 植西 唯公 // 柞原 北川 貞善 // 柞原 植西 正史 // 中野 寺田 健児 // 中野 中森 敏樹 // 杉山 大谷 善一 // 小川 杉本 正典 // 小川 杉本 隆 // 小川 松岡 徳治	信楽町小川 大西 啓友 // 小川出 山本 泰彦 // 上朝宮 山本 重和 // 上朝宮 洞 章 // 上朝宮 辻本 公一 // 上朝宮 上田 勇 // 下朝宮 村井 弘 // 下朝宮 村井 克年 // 宮尻 和田 龍夫 // 宮尻 片木 昭彦 // 宮尻 片木 明 // 多羅尾 高崎 照夫 // 多羅尾 勝矢 忠好 // 多羅尾 岩永 将 // 多羅尾 松倉 以吉 // 多羅尾 大塚 文博 // 多羅尾 山岡 稔久 // 多羅尾 檜原 秀治 // 多羅尾 北尾 憲一 // 多羅尾 西尾 次男 // 多羅尾 柿本 徳彦 日野町小井口 赤澤 秀男 // 村井 満島 弘順 // 大谷 木瀬 正 // 原 中西 浩司 // 川原 加納 敏博 // 杉 本道 威 // 杉 堀江 常雄 // 小野 植田 慶一 // 鳥居平 奥村 清 // 中之郷 吉澤 浩和 // 佐久良 吉本 昌敏 // 北脇 柴田 和英 // 西大路 木田 光夫 // 音羽 森口 訓男 // 西明寺 吉澤 禎之 // 蔵王 松尾 善宏 // 北畑 田代 悟 // 平子 小西 英次 // 熊野 福井 敬一 // 鎌掛1区 岡 幹雄 // 鎌掛3区 竹村 和司 // 鎌掛5区 篠村 忠司 // 下駒月 秋道 甚司 // 迫 中川 正博 // 迫 高木 久次 // 三十坪 東 茂年 // 猫田 辻 力 // 山本 辻 順三 // 中山 岡本 勇男
--	---	--	---

アンダーラインの総代さんは、その後役員に選任されたため、総代は欠員となります。

新たに林業推進員さんが決まりました。

任期 令和5年6月1日～令和8年5月31日（3年間）
3年間よろしくお願ひします。

湖南省石部中央	三大寺 章	土山町鮎河	水落 浩和	甲賀町和田	本多 徳之	信楽町杉山	植西 一彦
湖南省石部中央	服部 泰三	土山町鮎河	大家 重治	甲賀町高嶺	清水 勉	信楽町小川	杉本 具央
湖南省石部緑台	奥野平太郎	土山町黒滝	杉本 優	甲賀町五反田	阪口 富男	信楽町小川	村木 幹也
湖南省東寺	黄之瀬 豊	土山町黒川	井上 直喜	甲賀町小佐治	河合 仁司	信楽町小川出	田中 時夫
湖南省西寺	山本 弘一	土山町黒川	馬場吉太郎	甲賀町神保	藤橋 浩和	信楽町西	奥田 次
湖南省三雲	矢野 進次	土山町黒川	中江 信幸	甲賀町隠岐	小川 剛史	信楽町畑	北崎佐登志
湖南省三雲	奥村 明	土山町黒川	松岡 進	甲賀町岩室	杉本 芳久	信楽町上朝宮	山本 靖
湖南省針	小林 正幸	土山町猪鼻	馬場 秀樹	甲南町寺庄	森田 恒男	信楽町下朝宮	服部 憲武
湖南省平松	宮島 剛	土山町山中	平子 勇	甲南町葛木	吉澤 俊幸	信楽町宮尻	片木 善貴
湖南省柑子袋	立入 新一	土山町笹路	土山 春男	甲南町深川	山本 三郎	信楽町多羅尾	松倉 以吉
湖南省菩提寺	白井 和雄	土山町山女原	北林 俊也	甲南町稗谷	山際 万吉	信楽町多羅尾	勝矢 忠好
湖南省正福寺	青木 小司	土山町南土山乙	田島 敏治	甲南町森尻	今村 泰浩	日野町村井	満島 弘順
湖南省岩根	勝村 耕作	土山町南土山甲	前田 勝美	甲南町池田	山寄 吉未	日野町大谷	木瀬 正
水口町虫生野	今村 新壱	土山町北土山	立岡 俊郎	甲南町磯尾	山本 忠	日野町小井口	赤澤 秀男
水口町貴生川	神山伊智郎	土山町北土山	中岡 昇	甲南町磯尾	小野 幸雄	日野町佐久良	吉本 昌敏
水口町北内貴	倉田 清道	土山町北土山	松山 嘉雄	甲南町竜法師	前崎 吉隆	日野町杉	堀江 常雄
水口町宇川	清水 昭平	土山町南土山甲	増山 勝起	甲南町野尻	藤川 清文	日野町杉	本道 威
水口町高山	福東 浅次	土山町平子	服部 稔	甲南町野田	森田 信夫	日野町川原	加納 敏博
水口町三大寺	藪下 義弘	土山町瀬ノ音	福井 厚司	甲南町杉谷	神山 秀昭	日野町原	中西 浩司
水口町三大寺	谷村 和雄	土山町瀬ノ音	福井 治男	甲南町杉谷	木村 茂良	日野町小野	植田 慶一
水口町三大寺	岡崎 晃	土山町青土	福山 茂樹	甲南町杉谷	平井 三男	日野町中之郷	吉澤 浩和
水口町三本柳	鶴飼猪一郎	土山町野上野	吉倉 康規	甲南町杉谷	岡村 勝	日野町鳥居平	奥村 清
水口町牛飼	山田 弘志	土山町大沢	高橋 良雄	甲南町杉谷	中井 孝	日野町西明寺	吉澤 禎之
水口町牛飼	木田三喜雄	土山町頓宮	田中 広徳	甲南町新治	福永 克哉	日野町北畑	田代 悟
水口町杉中	芥川 浩司	土山町前野	前田 真弥	甲南町塩野	山中 靖士	日野町平子	小西 英次
水口町八田	山中 計	土山町市場	石田 清司	甲南町市原	植村 浩明	日野町蔵王	古澤 弘
水口町春日	鈴木 安則	土山町徳原	安井 利晴	甲南町柑子	中川 講一	日野町音羽	森口 訓男
水口町下山	伴 嘉幸	土山町大野	徳田 篤史	甲南町野川	増田 則治	日野町西大路	木田 光夫
水口町伴中山	中森 亨	土山町大野	市井 広樹	甲南町野川	北田 政博	日野町熊野	福井 敬一
水口町山	門坂 肇	土山町大野	袖口 和久	甲南町上馬杉	杉田 利正	日野町鎌掛	岡 幹雄
水口町泉	藤野 宗博	甲賀町櫛野	大原 久和	甲南町下馬杉	西本 惠一	日野町鎌掛	竹村 和司
水口町植	澤山 俊彦	甲賀町神	桑田 誠	信楽町宮町	中川 秀志	日野町鎌掛	篠村 忠司
水口町宇田	小嶋 金三	甲賀町神	広岡 晃	信楽町宮町	黄瀬 憲一	日野町下駒月	秋道 甚司
水口町名坂	池本 栄次	甲賀町神	中島 務	信楽町黄瀬	福山 章吾	日野町迫	中川 正博
水口町松尾	西村太家則	甲賀町大原上田	家森 康和	信楽町黄瀬	大西喜代利	日野町迫	堀 一郎
水口町中畑	山中 久和	甲賀町大原上田	林口 義久	信楽町牧	田村 佳弘	日野町三十坪	東 茂年
水口町新城	舘 治雄	甲賀町大久保	西田 学	信楽町牧	横山 正人	日野町猫田	辻 力
水口町今郷	長 正	甲賀町大原中	西田 恒夫	信楽町勅旨	大西 進	日野町山本	辻 順三
水口町今郷	山田 和男	甲賀町鳥居野	川邊忠一良	信楽町勅旨	宇田 佳民	日野町中山	岡本 勇男
水口町巖峨	嶋田 豊実	甲賀町相模	村木 竹良	信楽町長野	今井 茂雄	日野町北脇	柴田 和英
水口町巖峨	柳本 隆一	甲賀町大原市場	藤林 政嗣	信楽町江田	松本 泰明		
水口町和野	藤井 孝雄	甲賀町高野	田畑 茂彰	信楽町神山	稻森 廣文		
土山町大河原	山下 康秀	甲賀町油日	山下 春美	信楽町神山	服部 忠弘		
土山町鮎河	水上 重彦	甲賀町田堵野	増井 長司	信楽町畑	服部 善造		
土山町鮎河	曾我三四次	甲賀町滝	片矢 登	信楽町田代	大平 幸彦		
土山町鮎河	小倉 玉城	甲賀町滝	藤岡 弘樹	信楽町柞原	植西禮之輔		
土山町鮎河	上野喜久治	甲賀町毛枚	辻 重治	信楽町中野	青木 孝徳		



※合併が決定した場合においても、林業推進員さんは令和8年4月30日までお願ひすることになります。

理事会での合併協議の経過

【令和3年度】

- 令和4年5月24日（第7回理事会）
（報告事項）・県内森林組合系統における組織体制のあり方について

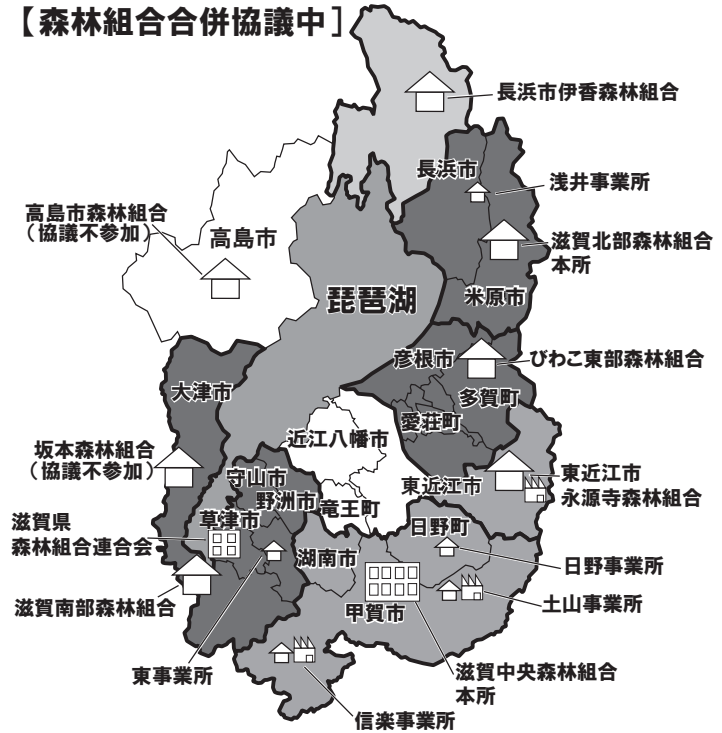
【令和4年度】

- 令和4年11月29日（第2回理事会）
（報告事項）・県内森林組合合併検討会の検討状況について
- 令和5年2月10日（第3回理事会）
（議事）・県内森林組合合併（任意）協議会への参加について・・・可決
- 令和5年5月24日（第4回理事会）
（報告事項）・県内森林組合合併（任意）協議会の検討事項について

【令和5年度】

- 令和5年7月19日（第1回理事会）
（報告事項）・県内森林組合広域合併構想（案）について
- 令和5年7月31日（第2回理事会）
（議事）・県内森林組合合併推進協議会の設置について・・・可決
- 令和5年9月27日（第4回理事会）
（議事）・県内森林組合合併推進協議会委員の選任について・・・可決
- 令和5年11月27日（第5回理事会）
（報告事項）・県内森林組合合併推進協議会の協議事項について
- 令和5年12月18日（第6回理事会）
（議事）・県内森林組合合併推進協議会の協議事項について・・・可決
- 令和6年1月23日（第7回理事会）
（議事）・合併臨時総代会の開催について・・・可決
・合併臨時総代会への提出議案について・・・可決

滋賀県森林組合の状況 【森林組合合併協議中】



地区別総代会

- 〔湖南市〕 日 時：令和5年6月7日
場 所：サンライフ甲西
出席数：9名（定数12名）出席率75%
- 〔水口町〕 日 時：令和5年6月7日
場 所：滋賀中央森林組合 本所
出席数：9名（定数19名）出席率47%
- 〔土山町〕 日 時：令和5年6月8日
場 所：土山開発センター
出席数：17名（定数37名）出席率46%
- 〔甲賀町〕 日 時：令和5年6月8日
場 所：甲賀創健館
出席数：24名（定数30名）出席率80%



- 〔甲南町〕 日 時：令和5年6月9日
場 所：甲南公民館
出席数：13名（定数15名）出席率87%
- 〔信楽町〕 日 時：令和5年6月9日
場 所：信楽中央公民館
出席数：27名（定数58名）出席率47%
- 〔日野町〕 日 時：令和5年6月12日
場 所：日野町林業センター
出席数：20名（定数29名）出席率69%



◇主な質問・意見

- ・各組合の出資金額にばらつきがある、森林組合によっては追加出資が必要ではないか
（各森林組合の現状出資金のままで、口数で調整を行います。当組合は、現状の1口1,000円が、1口100円で10口となります。）
- ・合併方式は、吸収合併にすべき
（あくまでも対等合併を基本としていますので、新設合併となります。）
- ・高島市森林組合は何故合併しないのか
（分からない。）
- ・合併のメリット、デメリットは
（合併することが目的でなく、合併を手段として組合員サービスを強化していきます。）
- ・合併しても根本的なことを考えないと経営が安定しない。
（合併のスケールメリットを最大限発揮して、安定経営をしていきます。）
- ・組織のスリム化は、合併しなくてもできるのでは
（合併することにより、役員数等が減り管理部門は、スリム化します。）
- ・当組合の経営は安定しているのに合併は必要か
（現状の労働力や設備、機械から今後5年後、10年後を見据えた場合、決して経営は安定しない。）
- ・各森林組合で土地の簿価と実勢の差はないのか
（被合併組合によっては、土地の簿価と実勢価格に差があります。合併後、土地の売却等で解消することになります。）
- ・法定協議会に入れば合併は進んでしまう総代会までに調整の骨子を示してほしい。
（総代会までに、合併構想説明会を開催し、調整の骨子を示します。）
- ・合併すれば人件費が上がると思うがどう想定しているのか
（経理システムや事業システムを統合して、効率化により管理人件費を抑制し、その分事業部門の利益向上を図ります。）

通常総代会

- 日 時：令和5年8月26日
場 所：甲賀市碧水ホール
本人出席：76名
書面出席：81名
合計出席数：157名（総代数200名）
提出議案：県内森林組合合併協議会の設置について・・・可決



◇主な質問・意見

- ・特に質問・意見なし

県内森林組合広域合併構想 (案) 総代説明会

〔信楽会場〕 日 時：令和5年7月26日
場 所：信楽中央公民館
出席数：19人

〔水口会場〕 日 時：令和5年7月27日
場 所：甲賀市碧水ホール
出席数：65人



Q 県内森林組合でもすでに大きい滋賀中央森林組合が今何故合併しなければならないのか。

A 現在、林業に全く関心がない森林所有者が急速に増加してきていることに加え、相続等で山の所有境界が分からず、森林整備に対する意識もなく、森林所有者の山離れが生じています。一方、森林の持つ二酸化炭素の吸収、水資源の確保、土砂流出防止等の公益的機能が益々重要になってきています。さらに、木材資源は年々成長し、資源の少ない我が国にとって唯一の循環資源として利用が期待されています。

木材利用から生まれる価値を森林所有者に還元して、循環型林業を復活させることが森林組合にとって大きな役割です。そのためには、小さなエリアでなくスケールメリットを活かした大きなエリアで木材生産から木材販売までを進めていくことが重要だからです。

Q 県内森林組合で最も財務基盤、事業量とも突出している滋賀中央森林組合が合併することにより他の森林組合を救済することにならないのか。

A 新設する森林組合に持ち込む財務基盤の中心である任意積立金について、「取り崩しが必要な場合は、その持ち込んだ組合のみが活用することで他の組合の救済に使われないようにする」等、合併協議会で協議しています。

また、「合併は、目的ではなく手段である」ことから、お互い連携と競争意識をもって運営するため、当面、被合併組合単位の損益計算による決算が軸となるような経営を行い、新組合全体で連結決算することを合併協議会で協議しています。

Q 当組合は、平成25年12月に合併して、10年が経ち組合員に対するサービスも固まってきました。今、さらに合併することで、組合員サービスが低下しませんか。

A 新組合では、現在の水口本所は中央事業所に、土山・信楽・日野事業所は土山・信楽・日野支所に、甲賀支所は甲賀出張所に名称は変わりますが、全て現在と変わらない窓口業務や事業を行いますので組合員サービスは低下しません。経理部門の統一により管理部門の人員を減らし業務部門に異動することができるので、むしろ組合員サービスの向上を図りたいと考えています。

報告事項 1. 令和4年度中間決算について
2. 滋賀県木材流通センター (LLP) 中間業績について

連絡事項 1. 役員、総代、林業推進員の改選について

第4回 理事会 令和5年5月24日 (水)

議事 議第1号 固定資産 (車両運搬具) 林内作業車の購入について

議第2号 総代選挙の実施に伴う選挙管理者等の選任について

議第3号 令和4年度決算見込み及び決算実施方針について

議第4号 令和5年度森林整備事業登録業者の選定について

議第5号 職員夏期賞与の支給について

議第6号 給与規程 (給料表) の一部改正について

議第7号 公印管理規程の一部改正について

議第8号 経理規程の一部改正について

議第9号 嘱託職員の採用について

議第10号 会計主任の任命について

報告事項 1. 不適正事案再発防止計画実行監理委員会の最終報告について

2. 県内森林組合合併 (任意) 協議会の検討事項について

連絡事項 1. 林業推進員の委嘱について

2. 総代選挙の結果について

3. 役員任期満了による改選及び地区別総代会の開催について

4. 第10回総代会までの日程について

不適正事案再発防止計画実行監理委員会（最終報告）

令和2年度から3年間計画で取り組んできました「不適正事案再発防止計画」による実効策の継続とモニタリングについて、令和4年度を以て終了しました。

不適正事案再発防止計画実行監理委員会の最終報告は、下記の通りです。

記

【不適正事案再発防止計画の骨子】

（再発防止策）

- ・組合内管理体制の改善
- ・作業班・外注業者管理の徹底
- ・情報の共有と効率化

（発生予防策）

- ・組織・仕事の目的や意義の認識
- ・内部統制が機能する組織の構築
- ・実効策の継続とモニタリング

【委員会の目的】

先に作成した、「不適正事案再発防止計画書」による「再発防止策」及び「発生予防策」が着実に実行されていることを検証し継続してモニタリングをしていくことを目的とした委員会です。

【構成委員】

滋賀県中部森林整備事務所次長
甲賀市林業振興課長
日野町農林課長
滋賀中央森林組合代表監事

滋賀県甲賀森林整備事務所次長
湖南市農林振興課長
森林・林業経営コンサルタント

【検証・モニタリング期間】

令和2年12月～令和5年5月（令和4年度末まで）

【これまでの委員会】

【令和2年度】

- 令和2年12月18日（第1回委員会）
- 令和3年2月9日（第2回委員会）

【令和3年度】

- 令和3年10月19日（第3回委員会）
- 令和4年2月21日（第4回委員会）

【令和4年度】

- 令和4年11月25日（第5回委員会）
- 令和5年3月2日（第6回委員会）



【委員会の最終報告：令和5年5月24日】

令和2年度より令和4年度の3ヶ年で計6回の委員会開催を行ない再発防止計画書の実行状況の検証とモニタリングを実施してきました。

結果、最終年度において、発生予防策、再発防止策の全項目にわたり、着実に実施できていることを認める。

令和4年度 理事会だより

第1回 理事会 令和4年7月29日（金）

- 議事 議第1号 令和3年度下期における理事との自己契約（実績）及び令和4年度上期における理事との自己契約（計画）について
- 議第2号 令和3年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案並びに注記表及び附属明細書の承認について
- 議第3号 令和4年度事業計画書の設定について
- 議第4号 定款、附属書森林組合役員選任規程及び附属書森林組合総代選挙規程の一部変更について
- 議第5号 「JForest滋賀中央森林組合ビジョン2030」について
- 議第6号 第9回通常総代会の開催日程について
- 議第7号 第9回通常総代会への提出議案について
- 報告事項 1. 令和3年度組合員の加入脱退について

2. 滋賀県森林組合変革プランの変更について

第2回 理事会 令和4年11月29日（火）

- 承認事項 1. 固定資産（車輛運搬具）の取得及び処分について
- 議事 議第1号 職員年末賞与の支給について
- 報告事項 1. 令和4年10月末現在事業進捗状況について
2. 県内森林組合合併検討会の検討状況について

第3回 理事会 令和5年2月10日（金）

- 議事 議第1号 県内森林組合合併（任意）協議会への参加について
- 議第2号 常例検査意見に対する理事の意見及び今後の方針について
- 議第3号 上半期における理事との自己契約（実績）及び下半期における理事との自己

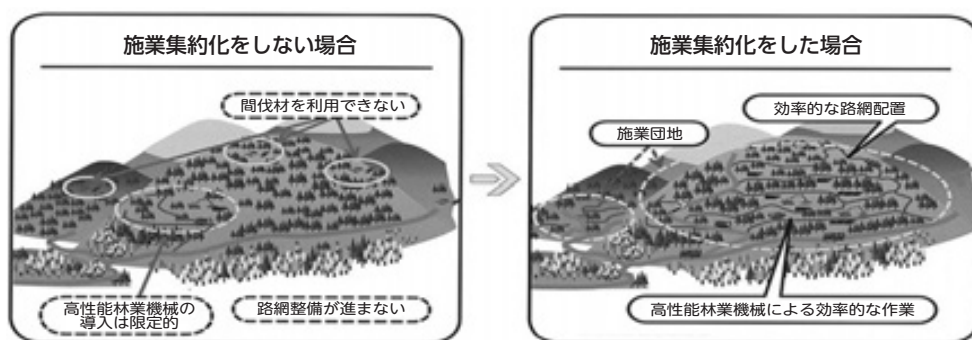
提案型集約化施業の必要性

現在、戦後に植林した人工林が成熟し、木材を利用する段階に入ってきています。しかし、林業への関心の低下や担い手不足、森林の所有形態が小規模に分散していることなどもあり、手入れされていないままの森林が多く、立ち枯れや土砂災害などの災害も起こりやすくなっています。そのような森林を今後整備していくためには、面的なまとまりをもって一体的に整備していくことが必要になっています

▲ 提案型集約化施業とは

小規模に分散した複数の森林所有者の隣接する森林を取りまとめて（集約化して）、森林所有者へ施業の提案を行い、地域の森林を管理していく方法のことを「提案型集約化施業」（または「提案型施業」）と呼びます。

また、このように複数の森林所有者の持つ森林を取りまとめて、路網（作業道）の開設から伐採までの施業を一体的に行う施業地を施業団地と呼びます。



搬出間伐施工前写真

完了写真

5年後



間伐材を搬出して間伐施業負担ゼロに、山によっては還元できます！！

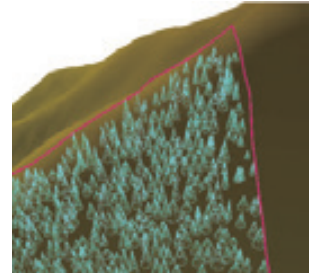
・下記試算例を参考の上お申し込み下さい。

受託造林事業試算例					0.1ha (1反) 当たり (円) ※搬出+間伐: 1ha当たり (円)			
補助事業名	森林環境保全直接支援事業							
作業種	造林	下刈	枝打	保育間伐	間伐+搬出+作業道			
補助対象要件	0.1ha (1反) 以上				集約面積 搬出材積10m ³ 以上+間伐率20%以上+作業道 (W=2.5m)			
補助対象林齢	地拵え、植栽	10年生以下	30年生以下 (間伐と同時実施)	①60年生以下 ②伐採木平均径18cm未満	スギ・ヒノキ		スギ・ヒノキ	
					末口径 (曲がり) φ12cm~φ16cm		末口径 φ18cm~φ26cm	
事業費 (標準)	0.1ha (1反) 当たり				1.0ha当たり			
	325,000	24,000	75,000	30,000	40m ³ ~49m ³ 搬出	1,080,000	60m ³ ~69m ³ 搬出	1,320,000
補助金 (概算)	190,000	19,000	66,000	25,000	搬出補助金	900,000	搬出補助金	1,090,000
					間伐材予定売上	180,000	間伐材予定売上	360,000
山主負担金	135,000	5,000	9,000	5,000	お支払額	0	お支払額	130,000
備考	森林施業プラン提案書 (見積書) を提示します。							

スマート林業

ここ数年さまざまなデジタル技術を活用した「スマート林業」と呼ばれる林業が従来の林業のあり方からとって代わろうとしています。「スマート林業」とは地理空間情報やICT、ロボット等の先端技術を活用し、森林施業の効率化・省力化や需要に応じた木材生産を可能とする林業のことです。これらを導入することで、安全面やコスト面などさまざまな側面での効率化に大きな期待が寄せられています。

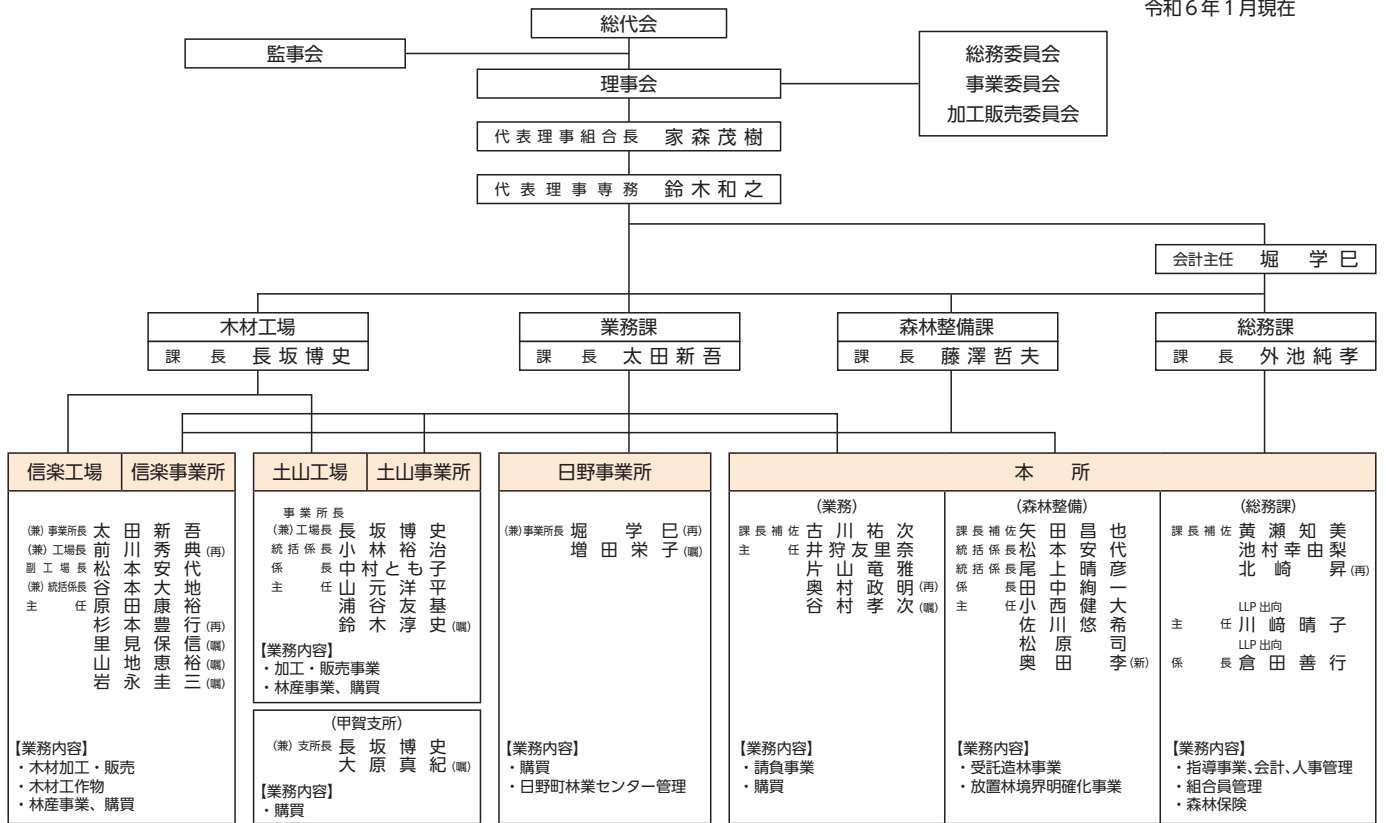
当組合でも昨年度から「スマート林業」への取組みを始めています。それは、「AssistZ」というソフトウェアの導入です。このソフトウェアは飛行機から広範囲にレーザーを地上へ照射して地形や樹木の形を把握する航空レーザー測量のデータを活用するものです。「AssistZ」を使用することで今まで森林内をくまなく踏査することで把握していた地形等をコンピューター上に3D化して表示することができます。これにより今まで長時間かけおこなっていた地形調査の労力を大幅に削減する事ができ、作業道の設計にも大いに活用することができますし、詳細な地形がわかるようになりますので境界の確定作業にも活用できると思います。さらに本年度導入予定のドローン (UAV) と連動させることで森林内の立木の本数や樹高等を自動算出することが可能になります。



(樹冠生成)

滋賀中央森林組合組織図

令和6年1月現在



新人紹介



森林整備課

R5.4.採用

オクダ トキ
奥田 季

昨年の4月より入組し、本所で勤務させていただいております。もとより自然が好きだった事もあり、現在問題になっている山離れによる森林の荒廃、放置林の増加を、少しでも解決できればと思っています。

生まれも育ちも甲賀なので、地元の森林が少しでもいい方向に進んで行くように努力したいと思っています。

まだ、分からない事ばかりですが諸先輩方からの指導の下、毎日勉強させていただいております。少しでも早く地域や地元の皆様に貢献できるように日々努力していきますのでよろしくお願ひ致します。



草刈り、支障木伐採はいかがですか。

当組合では、山の手入れ以外にも荒れ田や宅地の草刈り、住宅に隣接している支障木の伐採なども行っています。

主な作業料金の目安				
作業区分	作業内容	料金単位	料金	備考
草刈	草刈りのみ	㎡あたり	20円より	草丈により異なる。
	草刈り+処分	㎡あたり	30円より	
伐採	伐採のみ	本あたり	2,000円より	伐採条件により異なる。
	伐採+処分	本あたり	10,000円より	
剪定	枝払い等の剪定	本あたり	5,000円より	H=5.0m以上
	庭木剪定+処分	1式	20,000円より	
松くい虫防除	樹幹注入	薬剤本あたり	4,000円より	胸高直径により異なる。



作業前(伐採)



作業後(伐採)



作業前(草刈り)



作業後(草刈り)

その他作業については、ご相談下さい。

日野事業所

土山事業所

信楽事業所

甲賀支所

本所

- | | | | |
|----------|-----------|-----------------|-----------------------------------|
| 本所 | 〒528-0014 | 滋賀県甲賀市水口町鹿深3-39 | TEL 0748-65-4180 FAX 0748-65-4181 |
| 土山事業所・工場 | 〒528-0211 | 滋賀県甲賀市土山町北土山361 | TEL 0748-66-0015 FAX 0748-66-0395 |
| 信楽事業所・工場 | 〒529-1832 | 滋賀県甲賀市信楽町小川出1-1 | TEL 0748-82-0758 FAX 0748-82-3066 |
| 日野事業所 | 〒529-1602 | 滋賀県蒲生郡日野町河原1-1 | TEL 0748-52-4334 FAX 0748-52-4449 |
| 甲賀支所 | 〒520-3431 | 滋賀県甲賀市甲賀町大原中541 | TEL・FAX 0748-88-2127 |

JForest
滋賀中央森林組合

